

UVインキ

UV フレキシ シリーズ 製品紹介

『UV フレキシ シリーズ』は、フレキシ印刷機に使用される紫外線硬化型インキです。

■ 製品紹介及び特徴

【UV フレキシ 500 シリーズ】

汎用性のあるベーシックタイプのUVフレキシインキ

〔特徴〕

- ▶ 低粘度である。
- ▶ 乾燥能力が高い(ラインスピード 150m/min も可能)。
- ▶ 高濃度でハイグロス。
- ▶ 印刷適性が良好である。
- ▶ アンカー処理された一般ラベル印刷に使用されるフィルムに使用可能である。
- ▶ 粘度 : 約 400 ~ 600mPa・s

【UV フレキシ SP シリーズ】

紙への浸透を防止したタイプ

〔特徴〕

- ▶ 比較的ソフトなチキソ性を有する。(特定の印刷機構造においてはインキ垂れ等を防止できる)。
- ▶ 紙への浸透を抑えることができるため、浸透の速い用紙に有効である。
- ▶ 高濃度でハイグロス。
- ▶ “UV フレキシ 500”タイプと比較して接着性が良好である。
- ▶ 粘度 : 約 700~1000mPa・s

【UV フレキシ AF シリーズ】

各種原反への接着性を改善したタイプ

〔特徴〕

- ▶ 接着性の不十分な合成紙やキャストコート紙等に最適。
- ▶ “UV フレキシ SP”タイプよりの紙への浸透が少ない。
- ▶ 乾燥能力は“UV フレキシ 500”、“UV フレキシ SP”比較して劣る傾向にある。
- ▶ 粘度 : 約 800~1200mPa・s

- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認願います。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート(SDS)をご一読願います。

【UV フレキシ CF シリーズ】

特に接着性を要求される印刷物に利用されるUVフレキシインキ

〔特徴〕

- ▶ とりわけ接着性を重視したタイプである。
- ▶ コロナ放電処理されたPP・A-PET・PET-G等のプラスチック原反に接着良好。
- ▶ 合成紙やキャストコート紙等の原反にも接着良好。
- ▶ 粘度： 約 1000～1500mPa・s

■ 基準色および耐性

品名	耐光性		耐熱性	耐石けん性	耐溶剤性
	濃色	淡色			
UV フレキシ 黄	3	2	4	5	5
UV フレキシ 紅	4～5*	3*	4	2	4
UV フレキシ 藍	8	7	5	5	5
UV フレキシ 墨	7～8	7	5	5	5
UV フレキシ メジウム	8	—	5	5	5
UV フレキシ 白	8	7	5	5	5
UV フレキシ 金赤	3*	2*	4	1	3
UV フレキシ グリーン	8	7～8	5	5	5
UV フレキシ 耐光性 黄	5	3	4	5	5
UV フレキシ 耐光性 金赤	4	3	4	3	4
UV フレキシ 超耐光性 黄	6～7	5～6	5	5	5
UV フレキシ 超耐光性 金赤	6～7	5～6	5	5	5
UV フレキシ 耐光性 紅	5～6	3～4	5	5	5
UV フレキシ SR レッド	8	7	5	5	5
UV フレキシ SR マゼンタ	8	7	5	5	5
UV フレキシ 耐性 紫	7～8	7	5	5	5

評 価： 耐光性 8(優)⇔1(劣)、その他:5(優)⇔1(劣)

*…水に濡れた状態では、耐光性が極端に悪くなります。

〈試験方法〉

耐光性 … 印刷物をフェードメーターにて照射試験し、暴露時間と変褪色の程度により強度を8段階に分級。
希釈しない濃色とメジウムで5倍に希釈した淡色を試験する。

耐熱性 … 印刷物を150℃の熱風循環式乾燥機中で10分間加熱し、変褪色の程度により強度を5段階に分級。

耐石けん性… 印刷物を10%の石けんゲルに20～25℃で1時間付着し、変褪色の程度および石けんゲルへのブリードの程度により強度を5段階に分級。

耐溶剤性 … 印刷物をトルエンとアセトンの1:1混合液に20～25℃で24時間浸し、変褪色および混合液へのブリードの程度により強度を5段階に分級。

- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認ください。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート(SDS)をご一読願います。

500シリーズに限り、メタリックインキ(シルバー・ゴールド赤口・ゴールド青口)の用意もございます。
蛍光インキ、パールインキもご要望により作製いたします。
詳しくは、弊社担当営業にお尋ねください。

■ 使用上の注意

- ▶ よく攪拌してからご使用ください。
- ▶ 冷暗所にて保管してください。(30℃以下)
- ▶ 被印刷物へのインキ密着性は、材質や表面状態により異なります。予め密着性確認のため予備試験を行なってください。
- ▶ 非吸収原反に印刷した印刷物が屋外もしくは水(結露を含む)のかかる環境に置かれた場合、接着力が低下して爪などによって簡単に剥がれることがありますので、ご確認願います。
- ▶ 人体に影響のないように考慮して設計いたしておりますが、皮膚・衣類にインキが付着したまま長時間放置いたしますと、人によってカブレを生じることがあります。作業時の保護具の着用、作業後の手洗い等ご配慮ください。



印刷インキ工業会

2022/02/01 No.W-3

- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認願います。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート(SDS)をご一読願います。